

今日から始められる
ずっと無料!

のりの
保護者への動画配信

おかげさまで創刊15周年!

パステルIT新聞

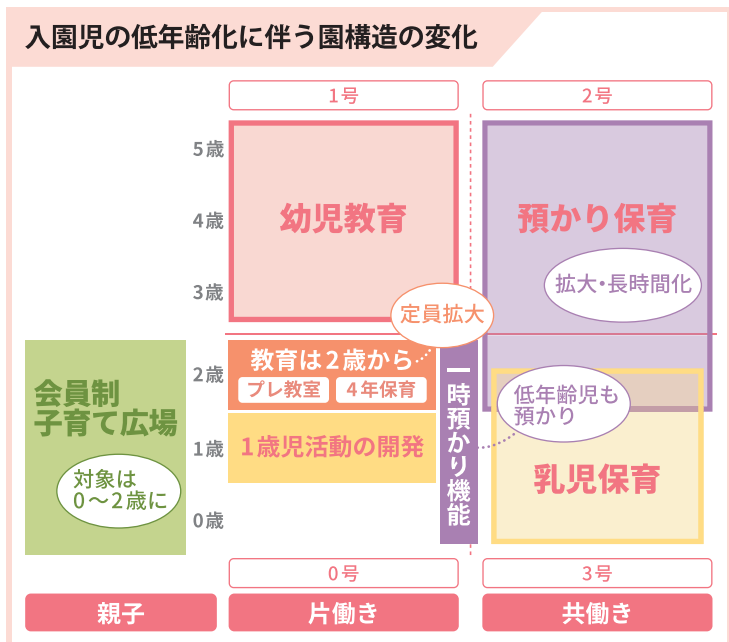
購読申込(無料)・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで

〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎ 054-626-8888 ☎ 054-626-3371
 発送先数: 11,739施設 (幼稚園 30% 保育園 40% 認定こども園 29% その他 1%)
 創刊: 2008年6月20日 発行: 株式会社サンロフト

第172号
-毎月20日発行-

今月の紙面

- 1 石田敦志さんに聞く!
園経営と園児募集の成功握る 会員制子育て広場
- 2 -VRで他者の視点を共有 新感覚の研修に興奮!
-毎月の集金業務がたった30分に enpay
- 3 -こども食育インストラクター集中講座
-散歩コースの安全を守る「交通安全マップ」
- 4 -コラム「原点回帰」七松幼稚園 亀山秀郎園長
-がんばれ!!わかば先生 Vol.172



園に求められる機能も多様に。0~2歳を対象とした子育て広場で多くの家庭と接点を持ち、入園の選択肢を提案していくことが重要になっている

園の経営コンサルティングを行う石田敦志さんによると、入園の低年齢化にあわせ増えているのが左図のような受入体制だといいます。例に挙げたのは幼稚園。共働き世帯の増加から預かり保育を行うようになり、預かる年齢も低年齢化。新たに乳児保育の機能を提供するために、こども園に移行したり、一時預かりのしくみを設けたりするなど、

3号認定児の受入体制を整える園が増えているそうです。教育については、満3歳入園を見据えた2歳児の定員が拡大傾向にあり、あわせて未就園児教室も0~2歳が中心になっています。しかし少子化や働く女性が増えたことで満3歳入園も集まりにくくなっているのが実情。石田さんは、「入園のタイミングが1歳に移行しつつある。3号認定で

特集 ファンが集まる園づくり

園経営と園児募集の成功握る 会員制子育て広場

共働き世帯の増加により、入園児の低年齢化と預かり時間の長時間化が加速し、人材不足に拍車をかけています。これからの園経営について、学園経営コンサルタンの石田敦志さんに伺いました。

その好事例として挙げられたのが、前述の体制のモデル園でもある幼保連携型認定こども園せいか幼稚園(奈良県)の子育てサロンマミーです。1日8組限定で、平日9時30分~11時30分にサロン専用の部屋を開放。専任の職員を配置し、子どもの発達に応じたおもちゃで遊んだり、子育ての情報を幅広く知ったりできる場を提供しています。現在は親子400組が登録し、その数は同園が関わる0~2歳(2歳クラスやプレ教室、小規模保育所、3号認定児等)の人数を超えます。

はな子どもも対象にできない一時預かりの機能を使い、1歳児に向けた活動の強化が重要になる」といいます。その手段として石田さんが推奨するのが、「会員制子育て広場」です。会員登録した未就園児親子が利用できる子育て支援のしくみで、石田さんは「園経営や園児募集を支えるポイントになる」と断言します。

「運営が複雑になる中、今の組織形態で理念を実現するのは困難。業務ごとに専任チームを設けて連携して子どもを育てる組織づくりが必要で、理念の共有が一層大切になる」と

ぜひ取り組んでほしいと石田さんが挙げたのが、理念を軸としたテーマで実施する対話。「幸せ」とはどういう幸せ?」などについて一人ひとりが考えを発表し、それらを融合させながら思考を磨く試みです。

「今は開園時間も長くない、対話や研修の時間が取れない園も多い。でも、そ

石田さんはサロンの魅力を「幼児教育につなげていくプログラム」「環境」「人」と分析。幼稚園と子育てサロンとで分断するのではなく、サロンから入園した子どもたちの成長の姿を園の先生とサロンの担当者で共有したり、サロンに来る親子と園の先生が交流したりと園との関わりを持たせることがカギと語りました。

同園では、「自分以外はお客様」という行動指針の

学園経営コンサルタント 石田敦志さん

三つ子の父として壮絶な子育てをしていたとき、出会った幼稚園の先生の言葉に救われた経験から現職に。園の経営コンサルティングや教職員育成研修を行う。

☑メルマガ申込 aishida44@edure.jp

れをそのまま放っておくと人間関係が希薄になり、チームワークがない状態になってしまう」と石田さん対話や研修のために配置を増員する園もあるそうです。理念を実現するための景色あわせに働き方改革は必須。それは同時に、貧困化や戦争などの社会不安の増大で高まるだろう「幼児教育への期待」に応える備えになると教えてくれました。

理念を共有し、対話する時間を

できるだけ長く、地域の子どもと教育を支える園づくりが求められる今、課題となるのは「採用」「組織づくり」です。

「運営が複雑になる中、今の組織形態で理念を実現するのは困難。業務ごとに専任チームを設けて連携して子どもを育てる組織づくりが必要で、理念の共有が一層大切になる」と

もと自然と挨拶や会話が交わされるそう。そうした心地よい接遇によってつくられた空間に子育て支援プログラムが加わったことが人気の理由となったようです。

せいか幼稚園のマミールーム。部屋を出て園内を探検することも!

パステルアカデミー

2030年を見据えた
幼児教育と職員育成
の取り組み

オンラインセミナー 参加無料 ※要申し込み

主催: パステルIT新聞

2023 7/12(水) 14:00~16:00

石田敦志氏 学園経営コンサルタント 三つ子の父
大嶽広展氏 株式会社カタグルマ 代表取締役社長CEO
加藤積一氏 学校法人 みんなのひまわり ぶじょうちえん 理事長・園長

お申し込み QRコード

文・服部由実

● 檸檬会・レイモンド西淀保育園の園内研修

VRで他者の視点を共有 新感覚の研修に興奮!

360度の映像を映すことで実際にその場にいるかのような感覚を得られるVR(バーチャリアリティ)。VRを活用した研修がレイモンド西淀保育園で行われました。



VRゴーグルを着けて保育室の様子を観察する先生(写真右)。見ている映像は手前のモニターに映し出され、他の先生もその様子を真剣に観察。
※CGを用いたVR機器のプログラムは(株)ソリッドレイ研究所が作成

「すごい」「何のこと?」
この日、レイモンド西淀保育園に用意されたのは、CGで再現された0歳児・1歳児の保育室。VRゴーグルを覗くと7m×7mの仮想保育室が目の前に広がり、子どもたちと保育者が動いている様子を確認できます。自身の動きに合わせて視点も変わるため、遊んでいる子ども様子を間近で見たり、机の下を覗き込

「先生や子どもたちの声が聞こえ、その場にいるかのような没入感を体験できます。後方からも育者目線で撮影した映像です。音が360度から拾われているため、先生や子どもたちの声が聞こえ、その場にいるかのような没入感を体験できます。」

情報抽出には「熟達差」がある

今回の研修テーマは、「保育者の気づきを高めるには?」。他者の気づきをVRを使って共有するという新しい試みで、兵庫教育大学大学院学校教育研究科の水落洋志先生とともに企画



んだりでき、その感覚に先生たちも驚き興奮。もう一つは、子どもたちと散歩へ出かけたときの様子を一人の保育者目線で撮影した映像です。音が360度から拾われているため、先生や子どもたちの声が聞こえ、その場にいるかのような没入感を体験できます。

保育者の熟達化を研究する水落先生によると、情報抽出には個人差と熟達差があるとのこと。保育経験年数に差がある保育未熟練者と保育熟練者の保育現場観察時における眼球運動と情報抽出を比較した研究においても、未熟練者は一つの箇所をじっくりと見ながら視線を切り替えていくのに対し、熟練者は視線の切り替えが素早く、全体に目を配るなどの違いが見られたそう。



兵庫教育大学大学院 水落洋志先生

研修では、VRで見た映像に対し、「0〜1歳児クラスの保育環境をよりよくするために?」「散歩中のAくんの興味・関心は? それをもとにどんな保育を展開する?」などの問いが設けられ、その後にディスカッションを行います。

視点を疑似体験 学びを深める題材に

研修を企画した社会福祉法人檸檬会の青木一永副理事長は、「他者の視点を疑似体験できるVRには学びのチャンスがある」と手ごたえを実感。「子どものことがよく見えている保育者

はどんな視点で何を見ていたのか。それを題材に学びを深められたら、とてもおもしろい」と語りました。さらに、子ども理解について石井不二恵園長は、「何が足りないんでしょうか」と落ち込む保育者もいる。これまでは手を差し伸べたくても言語化が難しい世界だった。そうした人材育成にもVRは使えるかもしれない」と保育業界の変化の予兆に目を輝かせます。

VRは自園の保育室を再現したり、体験している人の視線の動きを録画・共有可能。文章で書かれた事例や写真・動画よりもリアル

ティのある教材を使うことで、抽出される情報にも変化が期待されます。「VRのよさは子どもにとってどんな環境がよいかをシミュレーションできること。様々な場面設定を体験することが保育の質につながる」と水落先生。ゆくゆくは保育の専門性の可視化へとつながれたらと語る水落先生に同園からも共感の声が寄せられました。

社会福祉法人檸檬会 レイモンド西淀保育園

人材育成に積極的に取り組み、探究的な選型研修を行っている。保育業界の質向上を目指し保育士等キャリアアップ研修も開始。

文・服部由実

毎月の集金業務がたった30分に シンプルな請求・会計のしくみ

「お金を集めて管理する」
たったそれだけのようで膨大な集金業務。集金袋や口座振替の園が多い一方、請求書作成や支払い確認、未払い・引落不能の保護者対応、銀行入金など、物理的・

心理的負担が大きいのが実態です。教育現場の集金業務のキャッシュレス化に取り組む(株)エンペイは、クラウド・スマホで完結できる集金業務支援サービス「エンペイ」を提供しています。

キャッシュレスで 園も保護者も手軽に

エンペイは集計の流れをキャッシュレス・ペーパーレス化。園の管理画面で費目・金額を入力すると保護者のLINEに通知が届きます。保護者はクレジット・

コンビニ支払い・PayPayなどでいつでも決済可能。未払い者にはボタン一つで請求催促でき、集めたお金も自動で集計されることにより、会計データ作成まで自動化。導入園の集金完了率は99%を超え、「請求や催促が手軽に」「保護者の満足度も上がった」などの声があり、中には月30時間の業務が30分に短縮した事例もあるといえます。

集金だけでなく、前後の業務をデジタルで一元管理、限りなく手作業をゼロに。エンペイが圧倒的な時短を実現する理由です。



文・芦川桃香

導入施設の99%が利用を継続!

集金業務支援サービスのenpay(エンペイ)

負担のかかる毎月の集金業務が、エンペイならこんなにかんたん /

キャッシュレス決済で、現金の受け渡しゼロ
会計データも自動で、かんたん作成

一括請求、自動集計、催促機能で業務負担軽減

導入費
無料

集金業務に関する
ご相談はこちらから



オリジナルの「おやこみゆ遊び」でコミュニケーションの楽しさを体感する

EVENT

地域子育て支援イベント 園で学ぶ「自己肯定感の育み方」

2023年5月20日、NPO法人親子コミュニケーションシヨラボが提供する地域子育て支援イベント「自己肯定感を育むコミュニケーションあそび」が認可保育所千駄ヶ谷りとるぱんぷ

きんずで開催されました。

講師は同法人の代表理事を務める天野ひかりさん。自己肯定感について「ありのままの自分を受け止められる心の状態」と説明し、体あそびや手あそびによる親子のスキンシップを通じて、子どもが育つ声かけを紹介しました。

イベントを通じて 親子とつながる

イベントには未就園児と保護者9組が参加。講座の最後には園見学や子育て

現役保育士が伝える「こども食育インストラクター集中講座」

「自園の食育、これでいいのかな」「保育士と栄養士の連携ってどうすれば……」など食育に悩む園を応援しようと、(株)Vs.wingが推進する「保育再生プロジェクト」は、保育に特化した食育や指導の知識を学べる「こども食育インストラクター集中講座」を開講しています。

講座はオンライン・1日完結型。食育の三本柱や園給食の意義、離乳食、食具の使い方、アレルギー対応、クッキング・栽培の事例など保育現場ですぐに実践できる内容が好評です。保育士資格があればNPO日本食育インストラクター協会認定資格「食育インストラクター3級」を取得可能。園で申し込む場合は、ディスカッションを含む対面開催もでき

ます。これまでに現役保育士や保育士を目指す学生など延べ240人超が受講。

講師の鈴木さんは「生活に密着した食を学ぶと、子どもへの伝え方・関わり方、保育環境の作り方まで様々な目線が変わる。自園ならではの食育を考えるきっかけになればうれしい」と語りました。

株式会社Vs.wing(ワイズウィング)
鈴木 涼子さん
社会福祉法人清香会の現役保育士「保育再生プロジェクト」の一員として同講座の講師を務める。講座の詳細は下記QRへ。



教材づくりワークショップが好評



相談会が設けられ、園の魅力を保険者に伝える機会になりました。

園児募集に悩む園に対して天野さんは「イベントを通じて積極的に園の活動や保育に対する思いを伝えてもらい、発信していくことが重要。自己肯定感、親の関心も高く、子どもたちの入園後の成長にも通じるキーワード。自己肯定感を軸に、ともに園の魅力を再発見して伝えていきたい」と語りました。

同法人では今後もイベント開催園を募集予定。詳細はQRから。



文・山口捺暉

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 散歩の安全を守る「交通安全マップ」



交通安全マップサンプル

事故防止に関するセミナーやツールを提供するあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は2023年4月に施行の改正児童福祉法等を受け、「保育版交通安全マップ」を4月より新たに提供開始しました。

法改正により園外活動の

を提供し安全確認を支援します。テレマテイクスデータとは、自動車に搭載したドラレコ等の通信システムにより得られる自動車走行データ。「保育版交通安全マップ」は、お散歩コース(園の半径700m圏内)の地図上にこのデータから取得

目的の経路の安全確認が保育施設に求められている中で、同社が保有するテレマテイクスデータを活用した「保育版交通安全マップ」

できる「交通量」と「急減速発生率」を反映させ、危険を可視化させたものです。

リリース後1か月で530を超える全国の保育施設から申込みがあり「今までは職員の間でしかルートを確認を行っていたが、データを見られるのは新しい」「マップにより職員同士でお散歩ルートを話し合うきっかけができた」という声が寄せられています。

同社はマップ以外にも損害保険会社ならではのセミナーやツールで保育施設の事故防止活動を支援。詳細・問合せはサイトから。



顔認証&レーダー式安全装置「カオレーター」 バス乗降を楽しく確実に



わずか0.2秒で顔写真と乗降データがタブレット内に記録される

車内置き去り防止装置の設置義務化を受け、各メーカーから多様な製品が提案されています。(株)日本ビジネス開発が提供する「カオレーター」は、長年のソフトウェア開発技術をもとに開発された、顔認証とレーダー検知の技術を使った車内置き去り防止装置です。

開発の背景にあったのは、目視による降車確認に対する課題感。業務が習慣化することで確認が疎かになる可能性があると考えるから、本製品は職員の負担が

少ない顔認証での乗降確認とレーダーによる自動検知を採用しています。バス乗降口にタブレットを設置し、園児の顔認識で乗車人数を正確にカウント。降車時に再度顔認証を行い、乗降人

数が異なる場合には降車ができていない園児の顔写真を表示します。さらにエンジン停止後はレーダーによる車内検知が作動し、見落としを補完できるため安心です。

ポイントは、顔認証を活用することで誰が車内に残っているのが画像ですぐわかること。顔認証の際には8種類の動物の鳴き声がランダムに鳴るしくみも。安全を守るだけでなく園児にとってバスの乗り降りが楽しいものになりそうです。「カオレーター」詳細は下記QRから。



文・山口捺暉

「午睡中の園児の安全対策に！センサーで危険をすばやく検知！」

うつぶせ寝見守りシステム

す や っ ぴ

大成ネット株式会社
☎ 03-5488-8545



- ✓ うつぶせチェック
- ✓ 体動チェック
- ✓ 記録の自動化
- ✓ 帳票出力

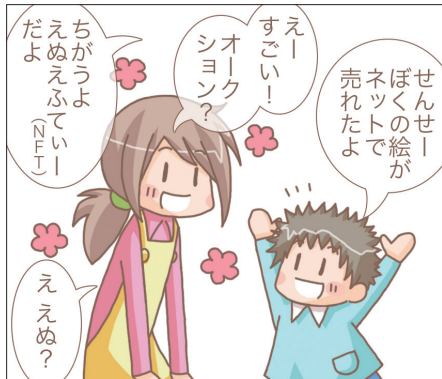
オンライン製品説明会
好評開催中！

詳細はこちら！



見守り人数が
変わっても
月額料金一律！

「エヌエフティーチャー!」編



NFT (Non-Fungible Token) は、「代替不可能なトークン」。所有証明されたデジタル資産のこと。大手企業が続々と参入を始めており、子どもの絵が高額売買されたことでも話題となりました。

学生時代、恩師の山田卓三先生に直接体験の中でも、触、味、嗅を伴った形で、視覚、聴覚による体験が大切だと学びました。自分が子どもの頃、先代園



亀山秀郎先生
学校教育学・博士。幼少期は喘息持ちだったが、学生時代3泊4日の幼児キャンプに参画。園のICT実践は文部科学省やOECDの報告書にも掲載されている。

自園では、敢えて1本1本マッチを擦ってカートンドックに火をつける実践にも挑戦しています。我が子もお泊り保育で、熱い思いをしてマッチを擦り、出来上がったお焦げのあるホットドックを美味しく食べたことは良い思い出です。できる範囲は、日常の保育の中でできるものから、行事や保護者との協力で行うもの等、一人で考えてもうまくいきません。最低限の安全面への配慮を行った上で、教職員、地域、保護者と共に、その体験の大切さに共感してもらえれば仕掛けづくりが園長の務めだと思っています。皆さんも子どもの頃に体験したことをみんなと創っていいかがでしょうか。

直接体験に勝るもの無し

生 活の中にA-が入り込み、世の中の流れで園業務や保育の中にもICT化が進む昨今です

が、一体何がこれから子どもたちに求められるのでしょうか。園生活で、子ども達に対して、改めて直接体験の大切さを考えさせられます。

園の先生が語るコラム

原点@帰
-子どもの未来をつくる人-

認定こども園七松幼稚園
園長 亀山秀郎

長と共に蛇が出そうな山やおぼれそうな湖で、ハラハラするような体験は、今生きる中の自信に繋がっており、原始的な体験程、子ども達の心と体に体験の価値が染みこんでいくことを実践を通して感じます。泥だらけになる体験、生えている草木を摘んだり取ったりする体験、たき火をして赤い火を見、煙たい体験を、如何に幼児教育を通して実践するかを考えています。

自園では、敢えて1本1本マッチを擦ってカートンドックに火をつける実践にも挑戦しています。我が子もお泊り保育で、熱い思いをしてマッチを擦り、出来上がったお焦げのあるホットドックを美味しく食べたことは良い思い出です。できる範囲は、日常の保育の中でできるものから、行事や保護者との協力で行うもの等、一人で考えてもうまくいきません。最低限の安全面への配慮を行った上で、教職員、地域、保護者と共に、その体験の大切さに共感してもらえれば仕掛けづくりが園長の務めだと思っています。皆さんも子どもの頃に体験したことをみんなと創っていいかがでしょうか。



今月のおすすめ絵本・書籍



お星さまみたいな黄色い花、ラッパみたいな花。何の野菜かわかるかな? 野菜の花の不思議を科学の目で知る・楽しむクイズ絵本。

『やさいのはな なんのはな?』
構成・文 / 宮崎祥子 写真 / 網野文絵
出版社 / 岩崎書店
定価 / 1,540円(税込)

●LINE友だち登録者限定
抽選3名様に絵本プレゼント! 申込▶



CANVAS NEWS!

遊びと学びの秘密基地

Labo Doodle

デジタルえほんアワード2022 審査員特別賞(石戸奈々子賞)受賞の Labo Doodle (Labo Lado/中国) をご紹介! 動物やモンスター、果物のキャラクターを主人公にイラストの描き方を楽しく学べるデジタルえほんです。描いたイラストに色を塗ったりメガネをかけたりして、オリジナルの作品をつくれます。モンスターの目や、足がつけられるのも楽しいポイントです。



たのしい! みたことない! 世界が広がる!
デジタルえほんアワード

デジタルえほんアワード
<http://www.digitalehonaward.net/>



保育博 child edu & care JAPAN WEST

保育博ウエスト2023

— 保育・教育ビジネス&サービスフェア —

2023年7月19日(水) - 20日(木)
マイドームおおさか www.hoikuhaku.com

保育園・幼稚園・こども園の保育者、園長、経営者のための保育専門フェア
人・モノ・コトに出会える、年に一度の2日間にいらっしゃいませんか?



来場事前登録で
▶ 入場無料
▶ セミナー聴講無料



園長先生同士の交流にも!

会場直結! JR大阪駅から無料のシャトルバスを運行します

JR大阪駅 桜橋駅出口から徒歩1分

現場の問題解決につながる製品やサービスが集結。



日々の業務に役立つ内容、時代に沿ったノウハウに出会えるプログラムを20本開催!

7月19日(水) 10:30-11:30

● 保育を楽しめる保育者になるために

東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長・全国保育士養成協議会会長・日本保育学会理事(前会長) 汐見 稔幸氏



7月20日(木) 10:30-11:30

● 園児が集まる仕組み創りと保護者の方から選ばれる園創り

学校法人誠華学園理事長、せいがグループCEO 出川 裕崇氏



7月20日(木) 11:00-11:45

● 「遊び」で広がる保育者の視点と発想 大人が楽しいと子どもが育つ

合同会社アルテコローレ 桐嶋 歩氏



お問合せ 保育博事務局 メッセフランクフルト ジャパン(株) Tel 03-3262-8456 visit@hoikuhaku.com